

南会津 のうりん ニュース



今号の写真：南郷トマト

目次

トピックス

- ・南会津の名産！南郷トマトをPRしました
- ・南会津地方農業相談会(トマト編)を開催しました
- ・和泉田堰沿線を巡るウォーキング「水土里を育む普及促進事業」が開催されました
- ・高校生林業現場見学会を開催しました
- ・リンドウ花卉着色不良発生抑制技術試験現地検討会を開催しました
- ・令和8年度南会津きのこ類・穀類等に係るモニタリング検査説明会を開催しました
- ・第44回福島県治山林道研究発表会にて成果発表を行いました
- ・福島県農林水産業振興計画意見交換会を開催しました

農林事務所からのお知らせ

- ・令和8年秋の農作業安全運動実施中！
- ・その一枚がチャンス！南会津産品を投稿して6次化商品に当てよう！

コラム

- ・キラリと光る南会津の6次化商品～本気の生ふりかけ(有限会社さんべ農園(只見町))～
- ・南会津の仕事、のぞいてみました！
【株式会社グリーンカルチャー】

第232号(令和8年9月4日発行) 福島県南会津農林事務所

トピックス

＼ 南会津の名産！南郷トマトをPRしました ／

8月8日～16日にかけて、南郷トマトをPRする令和8年度第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

8月8日には会津西街道道の駅たじまで1dayイベントを、8月9日から16日の期間には南会津町内の3店舗でWeeklyイベントを行いました。

1dayイベントでは、職員による南郷トマトのPRやアンケート回答者に南郷トマトをプレゼントし、また、道の駅たじまで合計1,500円以上購入した方に抽選で南郷トマトの6次化商品をプレゼントしました。さらに、南郷トマトに関するチラシや売り場を表示した地図も配布しました。

Weeklyイベントでは、協力店である「まちの駅南会津ふるさと物産館」「道の駅山口温泉きらら289」「会津西街道道の駅たじま」で南郷トマト1箱(24個入りの箱)以上を購入し、アンケートに協力いただいた方に南郷トマトの6次化商品をプレゼントしました。

これからの季節は、南郷トマトの「秋味」の出荷が始まります。酸味のある「夏味」に比べより糖度の高い「秋味」。ぜひ御賞味ください！



参加者がガチャポンを回す様子

(企画部)

／ 南会津地方農業相談会(トマト編)を開催しました ／

新たな担い手の確保を目的に、6月27日に南会津地域農業相談会(トマト編)を開催しました。当日は台風の影響が心配される中、県外から7名の相談者が参加しました。

午前中は、南会津町古町にある阿久津研二さん(平成23年就農)の南郷トマト生産ほ場を見学し、阿久津さんから、南郷トマトの特徴や苦労した経験、やりがいなどについてお話しいただきました。参加者は熱心に耳を傾け、栽培技術や冬期間の生活などについて積極的に質問していました。

午後は南会津町内の飲食店で、意見交換会を行いました。農林事務所をはじめとする関係機関から就農支援制度や地域の農業について説明があり、また、参加者からは就農に対する思いなどが語られました。

こうした相談会を契機として、南会津地域での就農者の増加に繋がるよう取り組んでまいります。



南会津地方農業相談会(トマト編)の様子(左:ほ場見学 右:意見交換会)

(農業振興普及部)

／ 和泉田堰沿線を巡るウォーキング《水土里を育む普及促進事業》が開催されました ／

7月26日、南会津町主催(後援:水土里ネット福島南会津支部、福島県南会津農林事務所)の「和泉田堰沿線を巡るウォーキング」が南会津町和泉田地区で開催されました。

本イベントは、「水土里を育む普及促進事業」の一環で行われ、地域の農業者や地域住民などに対し、農村地域を取り巻く現状や農業用施設の保全、管理に対する取組の必要性について理解を深めていただくことを目的としています。

当日はあいにくの雨模様となりましたが、一般応募の14名が参加しました。和泉田地区を中心に約90haで水稻やトマトを栽培している株式会社グリーンカルチャーの代表取締役・五十嵐氏を講師に迎え、和泉田堰の歴史や役割、和泉田地区の農業に関する説明のほか、日常では体験のできない様々な大型農業機械の試乗体験などが行われ、農業及び農業用施設の地域への関わりを学ぶ機会となりました。



大型農業機械の試乗体験の様子

(農村整備部)

＼ 高校生林業現場見学会を開催しました ／

当事務所では、林業関係への就業希望者の裾野拡大と就業促進を図るため、高校生に地域の林業に関係する経営体等を知ってもらう見学会を実施しており、今年度は7月27日に、福島県立南会津高等学校の1年生2名が南会津町針生地区の合同会社はりゅう林業の伐採及び植栽現場、同地区株式会社芳賀沼製作の製材工場をそれぞれ見学しました。

当日は森林資源の循環利用の意義について当事務所職員から説明した後、スギの伐倒作業とカラマツコンテナ苗による植栽地を見学しました。はりゅう林業の2名の方が息のあったコンビネーションで、約20mのスギの立木を狙ったとおりにチェーンソーで伐り倒すと拍手が起こっていました。また、製材工場では芳賀沼社長からより多くの木材を使うための工夫とその意義の説明を聞き、生徒たちは木材の加工作業や完成された製品を用いて木材がふんだんに使われたモデルハウスに興味深そうに見学していました。

普段なかなか見学することがない場所で実際の作業に触れ合うことで、森林・林業に対する興味や関心を持ってもらえたと感じました。

当事務所は、今後も森林・林業への関心を高め、林業就業の促進に取り組んでいきます。



(左:はりゅう林業から伐採方法(受口)の説明を受ける生徒たち)

(右:芳賀沼製作から木材(縦ログ)の加工工程の説明を受ける生徒たち)

(森林林業部)

＼ リンドウ花卉着色不良発生抑制技術試験現地検討会を開催しました ／

7月22日に、「令和8年度南会津地方におけるリンドウ花卉着色不良発生抑制技術試験現地検討会」を開催しました。リンドウでは、高温により花卉の着色不良が発生することがあります。そこで今回は遮光幕を設置して植物体の温度上昇を抑えることで、花卉の着色不良の発生を軽減する技術について検討を行いました。

当日は管内のリンドウ生産者や各関係機関から14名が参加しました。はじめに当事務所より「リンドウ花卉着色不良発生抑制技術試験」の概要について説明し、その後、試験ほ場を見学しました。

参加者は遮光資材が設置されている様子を見ながら、熱心に意見交換をされていました。今回の現地検討会が、リンドウ生産技術の向上や産地のさらなる発展、生産者の経営安定につながることを期待します。



試験ほ場見学の様子

(農業振興普及部)

令和8年度南会津きのこ類・穀類等に係るモニタリング 検査説明会を開催しました

8月4日、田島建設会館2階会議室において、「令和8年度南会津産きのこ類・穀類等に係るモニタリング検査説明会」を開催しました。

当事務所森林林業部から、特用林産物モニタリング検査及び出荷販売等について、当事務所農業振興普及部から、穀類のモニタリング検査についてそれぞれ説明しました。

今年も夏から秋にかけて野生きのこの発生、米をはじめとする穀類の収穫時期になってきました。消費者の信頼を確保し、安全な農産物を提供するため、今年度も昨年度と同様に野生きのこ、穀類のモニタリング検査を行い安全性が確認されてから出荷するようお願いします。

不明な点等ございましたら、担当部署までお気軽に御連絡ください。

【担当部署連絡先】

森林林業部	0241-62-5375
農業振興普及部	0241-62-5262



説明会の様子

(企画部)

第44回福島県治山林道研究発表会にて成果発表を行いました

7月21日に郡山市安積町にある福島県林業研究センターにて、「第44回福島県治山林道研究発表会」が開催されました。

当事務所からは林道担当の橋本技師が「南会津農林事務所管内における根株法尻保護工について」を発表しました。「根株(盛土)法尻保護工(ねかぶ(もりど)のりじりほごこう)」は、盛土の斜面の最下部(法尻)を浸食や崩壊から守るために、現場で発生した根株を活用する構造物です。

発表内容は、森林土木工事で発生する根株等を有効利用した工法のうち、特に実績の多い根株等による法尻保護工の現状について調査を行い、その問題点、今後の法尻保護工をより良く行うための改善案等について検討し、現場での試験施工を重ねていく旨の発表を行いました。

橋本技師は、「今後も継続して現場での試験施工および経過観察を行い、根株法尻保護工の発展に寄与していきたい。」と話しました。



成果発表の様子

(森林林業部)

／ 福島県農林水産業振興計画意見交換会を開催しました ／

7月29日に南会津合同庁舎において、令和3年12月に策定した福島県農林水産業振興計画に係る意見交換会を開催しました。意見交換会は、福島県農林水産業振興計画の周知を図るとともに現場の課題等を把握し、翌年度以降の施策に反映するために毎年開催しているもので、意見交換者として南会津地域の農林業等に携わる農林業者、オブザーバーとして町村、JA会津よつばの担当者に御出席いただきました。

本計画の基本目標である『『もうかる』『誇れる』共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村』を実現できるよう、地域の方々から実情や課題に関する御意見を頂き、今後の施策展開に資することで、南会津地域の農林業が持続的なものとなることを目的としています。

参加者からは農林業における担い手の確保や補助事業関係、森林整備など地域の課題について御意見をいただき、実りある会議となりました。



意見交換会の様子

(企画部)

農林事務所からのお知らせ

— 令和8年秋の農作業安全運動実施中！ —

県では、9月1日から10月31日までを「秋の農作業安全運動重点推進期間」としています。実りの秋を迎え、収穫作業で忙しい日が続きます。健康管理に注意しながら、無理のない作業計画を立て、農作業事故を起こさないように十分注意しましょう。

次のポイントを守り、安全な農作業を実践しましょう。

- ①作業前における機械の点検・整備及び周辺環境の確認をしっかりと行いましょう！
- ②道路端や曲がり角の草刈り、路肩の補強など危険箇所の改善に努めましょう！
- ③可倒式安全フレームは運転時には必ず立てて使用しましょう！
- ④シートベルトは必ず締めましょう！
- ⑤作業時以外は左右独立ブレーキを連結しましょう！
- ⑥機械点検・清掃時はエンジンを止めましょう！

また、全国の農作業事故で死亡する高齢者の割合は高い水準となっております。御家族や御近所の高齢な農業者の方に対して日々の声かけにより、安全な農作業に対する意識を高めましょう。声かけをする際は、具体的な危険箇所、注意点を伝えるとより効果的です。



(農業振興普及部)

— その一枚がチャンス！南会津産品を投稿して6次化商品を当てよう！—

Instagramキャンペーンを、8月1日～9月30日の期間で開催中です。

募集期間中に「南会津産の農産物または南会津産の農産物を使用した料理や6次化商品(飲食物)の写真」を投稿した方の中から抽選で20名様に南会津の6次化商品をプレゼントします。

※対象者は、当事務所公式Instagramアカウントをフォローしている方になります。

※南会津産とは南会津郡内産のものになります。

詳細な応募条件については、下記のとおりです。たくさんの御応募お待ちしております！

1 募集期間

令和8年8月1日(土)～令和8年9月30日(水)

2 参加手順

(1)南会津農林事務所公式Instagramアカウントをフォローする。

(2)南会津産の農産物または南会津産の農産物を使用した料理や6次化商品(飲食物)の写真に「#南会津いただきます」を付けて投稿する。

(3)事務所宛てにDMで「投稿したよ」等の完了コメントを送る。

(事務所から返信が来たら応募完了です。)

※既にフォローしていただいている方も対象です。

※南会津産であることが分かる写真も併せて投稿してください。

※料理は、お店で食べたものでも自分で作ったものでもOK！



MINAMIAIZU_NOURIN2

▲ 当事務所
公式Instagram
二次元コード



(企画部)

コラム

キラリと光る南会津の6次化商品 ～本気の生ふりかけ(有限会社さんべ農園(只見町))～

今回御紹介するのは、只見町の有限会社さんべ農園が販売する「本気の生ふりかけ」です。

長崎県島原産のしょうがとかつお節を、醤油と只見町伝統の米水あめで煮込んだ贅沢な一品で、一口食べればしょうがのピリツとした辛みと、かつおの風味が広がります。

熱々のご飯にかけてももちろん美味しいですが、豆腐やそうめんの薬味としても堪能いただけます。また、マヨネーズとめんつゆと一緒にパスタに和えて和風パスタにしても、しょうがの香りが広がる一品に仕上がりますので、ぜひお試しください。

店舗、オンラインショップ等で販売中です。
南会津の自然と生産者のこだわりが詰まった「本気の生ふりかけ」、ぜひ御賞味ください。

【有限会社さんべ農園】

📍 只見町大倉田向1880

☎ 090-9639-0221

HP <http://sambe-farm.jp/>



南会津の仕事、のぞいてみました！【株式会社グリーンカルチャー】

今回は、南会津町で南郷トマトや水稻の生産を行う株式会社グリーンカルチャーの従業員として活躍される涌井謙（わくいけん）さんと磯江景（いそえけい）さん、そして代表取締役の五十嵐伸人（いがらしのぶと）さんにお話を伺いました。

○普段の業務内容

——お二人の業務内容について教えてください

（涌井）トマトの管理を主に担当しています。7月から収穫も始まっているので朝6時くらいに出勤して、まずトマトを収穫してから、トマトの管理作業に入るといった流れです。

（磯江）私も涌井さんと同じです。ただ、私はマニュアル車の運転ができないので、選果場に持つていくのは、涌井さんだったり他の人によっていただいています。

——トマトの管理って何をしますか？

（涌井）始業後は、まず社員全員でトマトの収穫をします。色づいてきたトマトをもぎつて、コンテナに詰めて、出荷準備をするという流れです。それが終わったら管理作業に入ります。基本的にはトマトに栄養が行くように、余計な芽を摘んだりとか、小さい果実を摘み取る摘果をしてトマトの個数を調整したりなどです。

○来歴について

——涌井さんはどのような経緯で入社されたのですか？

（涌井）入社したのは7月でして、前職はソフトウェアエンジニアでした。生まれはタイで、小学校の頃はタイの日本人学校に通っていたのですが、中学校から日本で生活し始め、そのまま関東の方で就職しました。その後転職を考える機会があり、その当時、離農者が増えていくということも聞いていましたし、ちょうどいい機会だったので、農業始めようかなど。もともと米作りに興味があったので、米作りをしている会社を探していた中で、この会社を見つけ、転職することになりました。



左から涌井謙さん、五十嵐伸人さん、磯江景さん

——磯江さんはどのような経緯で入社されたのですか？

（磯江）入社したのは5月です。前職はデスクワークだったんですが、自衛隊に1年ほど勤めていました。出身は北海道で、入隊後、教育期間が半年ほどあり全国を転々とした後、東京で半年ほど勤務しました。元々田舎に移住するというのが一つの夢ではありまして、デスクワークが自分には合わないなと感じたときに、南会津への移住を決めました。

——北海道ご出身とのことですが、なぜ南会津へ？

（磯江）これは私の性格なのですが、一回行った所にまた戻るのなというか、どうせなら行ったことの無いところに行ってみたいと思いついて、東京の生活が合わなかったというのもあるのですが、言葉選ばずに言うのと、中途半端な田舎よりもつとすい田舎に行きたいという思いがありました（笑）。そこで地域の求人を見漁って、他県も含め何社か面接を受けた結果、この会社に就職を決めました。

○仕事をする上でのやりがい・大変なこと

——お二人とも色々な思いを持って南会津に移住されてきたとのことでしたが、実際に仕事してみても、やりがいあるいは大変なことは何でしょうか？

（磯江）やりがいと言いますが、この仕事をしていて良いなと思うのが、凄く健康的な生活が送れることです。自衛隊にいた時は、基本デスクワークで体力的に疲れるわけでもなく、夜も携帯いじって12時越えて、次の日寝不足になったりしていましたが、今は日中は基本立ち仕事で、体力を使いますし、朝も早いので、夜は気づいたら9時半とかには寝てしまつて、朝は5時に目が覚めるというような生活を送っています。そういう健康的な生活というか、人間らしい生活に満足しています。

（涌井）大変なことと言うと、これまでずっとソフトウェアエンジニアだったので、体がなまっついていて大変でした。まず日に焼けることから始まりますからね。磯江さんも来た当初は、相当皮がむけたって聞きましたけど。

（磯江）焼けるのは一瞬でした（笑）。元々真っ白だったんですけど3日くらいで真っ黒になりました（笑）。

（涌井）その話を聞いて、日焼け止めを塗ったおかげで私はそこまで酷くならなかったです（笑）。ただ、たまに田んぼに行くときにアームカバーをしないで除草作業をしていたら、肌が稲に負けてしまつて、数日ヒリヒリしていたことはありました。草刈り機も使ったこと自体が無かったので、振り回されたり、水面に入れてしまつてキックバックしたりと、デスクワークをやっていたら気づけない大変さがあつて面白いです。

○日常生活、休日の過ごし方

— 退勤後や休日は何をされていますか？

(磯江) 最近、筋トレ器具を買って、一時期中断してしまっていたので、再開しようと思っています。やるなら形から入ろうと思って、懸垂バーとかベンチプレスとか付いている大きいやつを買いました(笑)。休日は、こっちに来てからドライブにハマったこともあり、近場を走ったりしてます。車も少ないですし、景色がきれいなので、ドライブのしがいがあります。

(涌井) 基本的にゲームをしたり、映画、ドラマを見たりと、家の中で過ごしていますね。

○南会津で生活することの魅力、期待すること

— 南会津で生活を送る中で、地域の魅力だったり、ここは何とかがしてほしいというような思いはありますか？

(涌井) それで言うと、たまにジャンクなものが食べたくありません。

(磯江) 分かります(笑)。ハンバーガー食べに行こうと思って、店につくまでに1時間以上かかりますからね。せつかく持って帰ってきてても冷え冷えだし。

(涌井) あとは魚ですかね。川魚はいるんですけど、海の魚を取り扱っている店がなくて、刺身が無性に食べたくなる時があります。南会津は新潟に近いので、機会があれば、魚を買いに行ければと思っています。

(磯江) 魅力で言うと、地域全体というわけではないんですが、会社の面倒見が良いことですかね。移住するときに一番不安だったのが、住む場所だったんですが、内定いただいた後も密に連絡を取らせていただいて、住む場所とか必要な手続きとか一から十まで教えていただいたので、そのおかげで移住の決断ができたと思います。

(涌井) まだ経験したわけではないのですが、この地域の特殊なところが冬ですね。来た当初は、役場とか郵便局で会う人全員に冬からが本番とかさぞ言われましたけど、農業をやっている時期と冬でまた違う一面があるというのが魅力かもしれないです。

— グリーンカルチャーでは、南郷トマト・水稻を主に栽培していますが、収穫が終わった後の冬はどういった仕事をされるのですか？

(五十嵐) 冬は高齢者世帯の除雪作業だね。雪がどのくらい降るかわかわつてくるけど、今考えているのは除雪かな。農業関連の仕事もやれば良いけど、これだけ雪が降る場所だと、中々難しくってね。私だけじゃなくて若い人にも色々考えてもらいながら、何をやるかはこれから考えていきます。

○どういう方と一緒に働きたいか

— 今後、南会津へ移住を希望する、考える方は少なからずいらつしゃいますが、どういう方と一緒に働きたいでしょうか？

(五十嵐) 若い人と一緒に働きたいね。健康的でやる気のある人だと嬉しい。まず、仕事を十分楽しんでもらいながら、色々覚えてもらって、会社に貢献してもらえればと。うちの会社は20代、30代が7名くらいいて、比較的若い人が多い会社だからみんなで仲良く働いてもらえればと思っています。

○今後の展望

— お二人は今年から入社されたとのことでしたが、お仕事に関しての展望などはありますか？

(涌井) 今はトマトがメイン業務で、一人でハウス一棟を管理するという形をとっているのですが、今は一日に一棟終わらせることができないので、終わらせられるようにしていきたいです。また、今は米の方を担当していないので、来年にはなつてしまいますが、田植えについても学んでいきたいと思っています。

(磯江) 農業用の車って色んな種類があつて乗れるようになればなるほど、仕事の幅を広げられるので、時間を見て免許の勉強をしたいと思っています。

涌井謙さん、磯江景さん、五十嵐伸人さん、お忙しい中ありがとうございました。

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1
☎ 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/>

